福井いきいき会新聞

2026年11月1日 発行:福井いきいき会：福井市中央1-9-29：0776-28-6464 発行責任者 吉岡会長

一生勉強　一生感動　一生青春（第９４号）



秋を彩る花壇

サークル活動発表会無事終了

十月十八日（日）にアオッサ六階レクルームA、Bで開催された令和八年度の当会サークル活動発表会では、全二十八サークル中、二十四サークルが日ごろの活動をポスター、動画、実演、プレゼンテーションなどで発表しました。

開場は十一時半で、十二時に開会。寺岡副会長の開会の挨拶の後、十三時までの一時間は、ほぼ全サークルが会場をぐるりと囲むように貼り出した、活動内容がわかるカラフルな写真や文章を盛り込んだポスターで発表しました。

そして、同時間帯には、よろず討論会、卓話の会、新聞記事を読む会、うたのサロン、音楽鑑賞会、おしゃべりサロン、私の趣味、囲碁将棋の会、私の健康法、いきいきピンポンの会の十のサークルが、実際に活動している様子を撮影した五、六分の動画を、連続して大スクリーンに投影し、紹介しました。

入口の受付の隣には、おしゃべりサロンの主宰者らが、二種類のコーヒーやスナック菓子などをテーブルに並べて、来場者に提供していました。この時間帯には、楽しいＡＩを体験していただくコーナーも設けましたが、残念ながら、パソコンの画面を映すテレビ使いが、一貫して一人になりがちな高齢者に楽しい居場所を提供するという当会の理念の実現のために、多くのサークル活動を行っているサークルと話されました。

最初の発表は、小林さんが主宰する合唱サークルで、和田先生の伴奏により「赤とんぼ」「小さい秋見つけた」、中島みゆきの「麦の唄」の三曲を、皆さん白と黒で統一した服装で歌われました。二番目は川柳同好会の発表で、山田さんが、会の発表の様子を説明された後、メンバー自薦の川柳をポストカードにしたものを、一枚一枚解説しながら紹介していきました。三番目は映画鑑賞会で、佐々木さんが、スマホを使ってＡＩが語る映画鑑賞会の魅力を聞かせた後、いくつかの映画を紹介しました。

次いで、「知って楽しい世界史」の紹介では、現在、世界中の紛争や事件を理解するには、関係国の近代史を知ることが大切であるとして、「イスラエルとイランはなぜ戦うのか」「朝鮮戦争と南北分断の原点」「台湾の歴史」などを、わかりやすいYouTube動画を見ながら学んでいることを紹介しました。

次の発表は「ことのは朗読会」で、主宰者の澤村事務局長は、「本を黙読するのもいいけれど、脳トレとしては声を出して読むのが効果的なので、国内外の名作をみんなで声を出して読んでいます」と紹介されました。前半の最後の発表は写真クラブで、毎月撮影するテーマを決めて、撮影した写真をサークルに持ち寄り、大きなスクリーンに投影しながら、自由に感想や批評をしていると紹介されました。

ここで予定していた十分間の休憩時間を省略して、後半の発表に移りました。最初は芸能クラブで、山口悦子さんが紙芝居「のらくらトラやん」を披露されました。続いて、カラオケうたの会は、高橋さんが「津軽三味線ひとり旅」を、西川さんが「少年時代」を、鈴木さんが「鳴門海流」を、そして主宰者の小林さんは、新曲の「風花」を歌われました。続いて、吉岡会長が「易しい科学の話」について、「目の老化は防げるか？」「人はなぜ忘れるのか？」「なぜ転ぶのか？」といった高齢者に身近な問題や、



ポスター展示



会場の様子



サークル活動紹介の動画の上映



合唱サークルの発表



川柳同好会の発表



世界遺産の会の発表

令和８年１１月の行事予定表

日	曜日	活動場所		開始時間	行　事　名
1	日	Aマ			
2	月	市体育館		13:00	ピンポンの会
			B	13:00	合唱サークル
3	火	Aマ	B	13:00	映画鑑賞会(洋画)
4	水		B	13:15	楽しいAI研究会
5	木		B	10:30	ことのは 朗読会
			B	13:00	囲碁将棋
6	金	Aマ			旅行会
7	土	Aマ	B	13:00	卓話を楽しむ会
8	日	Aマ			
9	月		B	13:15	新聞記事を読む会
10	火	Aマ	B	13:00	運営委員会
11	水	アオッサ6FレクA		13:30	うたのサロン
			B	13:15	楽しいAI研究会
12	木		B	13:00	囲碁将棋
13	金	Aマ	ハピリン4F	13:30	夜明けの会
			B	13:15	世界遺産を観る会
14	土	Aマ	B	13:00	私の健康法
15	日	Aマ			
16	月		B	13:00	短歌の会
		市体育館		13:00	ピンポンの会
		別会場		11:00	手作りの会
17	火	Aマ	B	10:00	おしゃべりサロン
			B	13:15	映画鑑賞会(邦画)
18	水		B	13:15	私の趣味
19	木		B	13:00	カラオケうた会
20	金	Aマ	B	13:00	有望投資株討論会
21	土	Aマ	B	10:30	写真クラブ
			B	13:00	川柳同好会
22	日	Aマ			
23	月		B	13:15	新聞記事を読む会
24	火	市体育館		13:00	ピンポンの会
		Aマ	B	13:00	音楽鑑賞会
25	水		B	13:15	易しい科学の話
26	木	アオッサ706,707		13:00	例会
27	金	Aマ	B	13:00	囲碁将棋
28	土	Aマ	B	13:15	気軽にカラオケ
29	日	Aマ			
30	月		B	13:00	知って楽しい世界史
		市体育館		13:00	ピンポンの会

Aマは、13時から3階Ａ室で健康麻雀、
Bは　2階会議室

令和八年十一月の行事予定

例会講演

菊池寛作「父帰る」の朗読 ことのは朗読会

菊池寛の題記の戯曲は、長年家族を捨てていた父が突然帰宅。父への怒りと許したい気持ちの間で揺れる家族の葛藤を描いた感動の戯曲です。ことのは朗読会のメンバーが、感情をこめて朗読劇に挑戦しています。

映画鑑賞会

十一月三日（火）の洋画は、「２００１年宇宙の旅」を上映します。人類の進化と宇宙の謎を壮大な映像で描くSF映画。木星へ向かう宇宙船で人工知能が反乱を起こす。人類の起源と未来を問いかける、映画史に残る不朽の名作。

十一月十七日（火）は、「東京家族」を上映します。瀬戸内海の島に暮らす老夫婦が、東京の子供たちを訪ねる。しかし、子供たちは忙しく、両親との時間を十分に取れない。そんな中、母親が突然倒れ、家族は悲しい別れを迎える。親子のすれ違いと家族の絆を温かく描く感動作。



東京家族



２００１年宇宙の旅



天安門 Youtube 動画の画面

知って楽しい世界史の会
中国はなぜ共産党の国になったのか
主宰　酒井　慎夫

清朝崩壊後の中国は、軍閥の争いや外国の侵略で混乱。一九二一年に成立した中国共産党は、毛沢東の指導のもと、土地改革で農民の支持を広げた。蒋介石率いる国民党との内戦に勝利し、一九四九年に中華人民共和国を建国。中国は共産党による一党支配の国となった

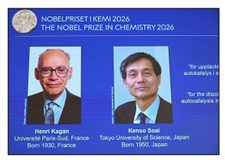
楽しいＡＩ研究会
講師　吉岡　芳夫

世の中ではＡＩ革命が進行中。悪用はだめですが高齢者でも楽しめる利用法はいっぱいあります。講師と一緒にＡＩを楽しみましょう。たとえばＡＩで作った絵の展覧会等もできますよ。

世界遺産を観る会
主宰　松島　成美

エジプトの世界遺産を訪ねます。ギザの壮大なピラミッドとスフィンクス、古代エジプトの貴重な遺物を収蔵するカイロのエジプト考古学博物館、さらにナイル川上流の巨大なアブ・シンベル神殿を巡り、古代エジプト文明の壮大な歴史と魅力に触れます。





易しい科学の話
主宰　吉岡　芳夫

今年のノーベル賞やイグノーベル賞を易しく紹介します。同じ材料からできる、右手型と左手型の分子。その一方だけを作る方法を研究しました。医薬品開発にも役立ちます。



ピラミッドとスフィンクス

月面滞在を目指すアルテミス計画、「地震はなぜ起こるのか」「福井地震は再び起こるか」などといったテーマを、易しく話していることを紹介しました。

次に、新しく立ち上げた「楽しいＡＩ研究会」では、ＡＩに絵や詩を書かせたり、写真や川柳を評価してもらったりするなど、いろいろな楽しみ方があることを発表しました。

最後は、松島さんが主宰する「世界遺産を見る会」の紹介でした。Youtubeで公開されている動画を活用して、世界各地の世界遺産を視聴していること、具体例として、世界一美しい湖畔の街ハルシュタットや、日本の日光東照宮など、素晴らしい世界遺産の画像を紹介されました。

以上で全発表を終わりましたが、最後に前会長の小林さんが、今日の各サークルの発表を一つひとつ取り上げながら、丁寧な講評を述べられました。そのあと、福井いきいき会の歌を十番まで、参加者一同が歌いました。閉会の挨拶は大野顧問で、いきいき会は素晴らしい会であり、なくてはならない会になっていると述べられ、一本締めで会をお締めくくられました。

今回の発表会には、予想より少ない七十三名の来場者がありました。日曜日の開催であり、隣接のハピリンで高齢者向けのイベントが開催されていたこと、発表会の周知が不足していたことなど反省すべき点も多々ありました。それにもかかわらず、最後まで熱心に発表をご覧いただいた皆様に、心から感謝いたします。

一方、今回の発表会に関しては、特に実行委員会のメンバーを務められた澤村事務局長、運営委員会委員の片山さん、羽川さん、田中泰江さんのご尽力が大きかったと思います。また、当日受付を担当された上出さん、南部さん、会場設営や後片付けには、多くの運営委員会のメンバーや会員の皆様のご協力がありました。さらに、この日のために苦労と工夫を重ねられた各サークルの主宰者の皆様にも、心から御礼を申し上げます。

吉岡　芳夫

発表会での再認識と反省

事務局長　澤村玲子

十月十八日、第三回サークル発表会で二十八ものサークル数とその内容のバラエティーに富んだものに、スローガン一生勉強、一生感動、一生青春に沿う優れたボランティア団体であると誇りを感じております。発



澤村事務局長

足して十四年途上にあり、会員の年齢も当初からの会員は、その年数だけ高齢になりました。中心的に会の支柱として献身的に活動継続中の方々も、残りわずかで九十歳になられます。日本の伝統的知的ゲーム囲碁将棋から、最先端のＡＩ知識の域まで幅広く取り入れた知と遊に融合したサークルを有する団体は、全国的にも個性の秀でた誇れるべき団体であると自負しております。その活動は見ごたえ十分、会員の笑顔が輝き、大真面目にサークルに臨む眼差しがしっかり感じ取れ、圧巻の印象でした。これこそがいきいき会と集う居場所であると改めて実感し認識しました。

第二部でのステージ発表はプレゼン付き映像発表で、毎月の積み重ねの成果が見られ、主宰者の献身的な様子が光っていました。その活動を醸成するのは、光の参加者の熱意のそれへの参加者あってのものであります。参加者の継続と成果であると思います。人は元来学びも遊びも大好きな生き物であると思います。体を動かす、脳が動けば口も動き、表現するその連鎖が仲間との親交になり、自分を前に押し出すのです。それを叶えてくれるのがいきいき会の各サークルだと思っています。そう考えると結果のでき不出来の前に、発表会が意義あるイベントであるとも感じました。

さて次に反省も多々あります。その最たるものは事務局長の私の非力です。運営委員会で発表会実施有無を決定したその日に、会場予約に行きましたが、時すでに遅く十八日（日）しか空き日がありませんでした。実行有無前に、会場を抑えておくべきでした。実にまずい取り返しのつかない大失敗で、言い訳の余地のない私の配慮に欠けた大ミスです。なぜなら十月十八日は第三日曜日でした。福井県においては昭和四十二年スタート、平成二十年度からは家族ふれあいデーというサブタイトル追加で、現在「家庭の日、家族ふれあいデー」として歴史を重ねている日でした。また駅前から西武までの電車通りには祭りの出店で賑わい、駅中やハピテラスも大勢の人がイベント参加で盛り上がっていました。お天気にも恵まれていましたから、家族で行楽を楽しんだ数も多かったことでしょう。発表会には極めて不利な日でした。日を選ぶことの重大さを身にしみた反省です。それにもかかわらず、当日会場に足をお運びいただいた皆様、しかも最後まで根気強く席を温めてくださいました皆様に心から感謝致します。そしてこの日のためにご苦労と工夫を重ねられた主宰者各位に私事務局長の非力を心からお詫びいたします。

リレーエッセイ

「人生百年時代と言うが・・」

山田　良彦

太平洋戦争のまっ只中で生まれ、敗戦後の食料・物資不足の時代に子ども時代を過ごした。我が家は奥越大野の零細農家であった。家に最初の裸電球が灯ったのは四、五歳の時だったと思う。それまでのローソクやカンテラとは違う明るさに感動した覚えがある。たまに集落の道路を進駐軍のジープが通ったりすると子供達は皆駆け寄ったものだ。後には農協に角ハンドルのオート三輪車が入った。村の大きな屋敷で「嫁取り」があってハイヤーが来た。後部にはボンベ型の釜の付いた木炭車であった。



山田　良彦氏

私は高卒で福井食糧事務所（農林省）に採用された。地元大野支所に二年在籍した後、福井へ異動となり二～三年で地元に戻るつもりが二十数年が経った。この間には結婚し、福井市に居を構えて二人の娘も成長した。四十六歳の時県外異動の話が出た。職場・年齢・家庭環境等が私を指名するのに都合が良かったようだ。「決断」を迫られ、「否」もあることを知りつつ、ローン返済と二人の娘のこと等も妻と相談して県外異動の道に入ることとした。

平成元年から単身赴任であった。爾後十三年間を岐阜を皮切りに北は青森まで七つの県に赴いた。苦しいこともあったが、地元だけでは得難い経験を沢山出来た。

ここまで私的な経過を記してきたが、戦後の日本社会は目まぐるしく急速に変貌した。私の初任給は八千七百円（昭和三六年）であった。労働組合運動は賃上げ闘争の他、男女差別・勤評反対、労働時間短縮、そして日米安保反対等の平和運動にも及んだ。世の中は合理化、機械化が急速に進展した。経済も一九五四年から始まる神武景気、岩戸景気、オリンピック景気、いざなぎ景気と一連の高度経済成長へと続いた。それに連れて世相は浮かれ、そして乱れもしたように思う。

堪えたばこで仕事をし、終わればパチンコ・麻雀、連れだって飲み屋をはしご。カラオケバーでは「三年目の浮気ぐらい大目に見てよ」「骨まで愛して」等と歌い、残業で終電に乗り遅れた等と奥様に言い訳したりして・・。その後は三十数年に及ぶ低成長期を迎えた。

そして現在は高齢化社会。気が付けば年金、医療、認知症など山ほどの問題を抱えている。少子高齢化や人口減少、地球温暖化。若者は分からないことは上司や親よりスマホ・ＡＩに聞く。老人はバス・電車に乗るにも神経を使う。人と会話せよと言うが極寒や極暑警報が出れば娘達は「外出禁止だよ」と云う。介護が欠かせない妻は特養施設で止むなく別居生活。電話が鳴れば「オレオレ詐欺に怯え、弱ってきた身体を庇い、残った年金を見つめて生きている。人生百年時代と云うが家にこもる日が多くなった。暦には「医者」と「いきいき会」の予定しか付かない。必要な物は？と問われれば、テレビ・エアコンそして炬燵くらいかな・・？「百歳までとは言わない。でも、もう暫くは・・」と思っている。

大谷翔平もだが日本にも女性首相が誕生した。トランプ・プーチン・習近平等の言動。それに温暖化や凶暴化する自然災害も気にかかる今日この頃である。

サークル活動の紹介

川柳同好会

十月例会の　個人別優秀句

この事は言わないでねと　何故話す　中野ふさゑ

いつ咲くのつぼみに　呼びかけ　酔芙蓉　小坂　武士

友の愚痴よくよく聞けば　自慢なり　吉田美恵子

枯れた草そうだったのか　彼岸花　山田　良彦

ラーメンが出来る三分　スクワット　新田ヨシエ

懐かしき　生き生き　サンマは今どこに　大野　勉

わっはぁはぁ　笑って　暮らせよ秋の空　尾野　忠男

戦地にも青空気分の　恵みあれ　澤村　玲子

ころぶなといいし自分も　こけている　吉岡　芳夫

ポイントを集めた頃に　店はなし　高谷三恵子

これ大事あれも大事と　ゴミの部屋　井上　幸彦

店先で秋を感じた　栗売り場　尾野フミ子

やっちゃった買ったの忘れ　又買った　南部　歳子

令和八年十一月の

音楽鑑賞会のプログラム

左の表の通りです。

